

平成30年度「暮らしのなかの食」の取組実践発表

収穫する喜びや  
食べる楽しさを  
感じる食農体験

伊那市立美篤小学校

# 教育計画の中の食農（目的）

## 目的（ねらい）

- （１）自分たちで育て・食べ・もてなすことを通して食に関心を持ち，自然の恵みに感謝しながら，収穫する喜びや食べる楽しさを感じる。
- （２）食に関わることで生まれる、人々とのつながりを感じる。

# 教育計画の中の食農（活動計画）

## ①農地確保について

- ▶ 学校近隣に地域の方から約40㎡を借用、3年生以上の学年及び支援学級3学級で均等分割して使用する。
- ▶ 2年生は、校舎中庭の花壇を畑として使用する。
- ▶ 5年生は学校敷地内の田んぼを活用。
- ▶ さらに畑を広く使用したい学年は、「農事組合法人みすず」の方や地域の方に相談するなどし、別途交渉して借り上げる。（今年度は5年生が借用）

# 教育計画の中の食農（活動計画）

## ②地域社会との連携について

- ▶ 農事組合法人みすずの方々により、苗の手配や時期に合わせた作業などについて、世話の仕方や道具の手配等で協力いただく。
- ▶ 地域の生産者や生産団体との連携。
- ▶ 3学年社会科，5学年総合的な学習の時間の学習で特定の生産者との交流。
- ▶ 農や食の歴史を語る人々（資料館運営委員さん）に学ぶ。
- ▶ 公民館・育成会・JA共催の「親子青空教室」への積極的な参加（希望者）。

# 教育計画の中の食農（活動計画）

## ③栽培作物の見通し

### [低学年]

- ▶ 収穫してそのまま食べられる身近な作物・簡単な調理で食べられる身近な作物を育て収穫する。

### [中学年]

- ▶ 育てた野菜の調理方法を考え、目的を持って栽培活動を行う。作り方を調べて調理し、自分たちで食したり家族にも食べてもらったりして、育てた物を加工し食する楽しさを感じる。

### [高学年]

- ▶ 自分たちで食する他に、地域の方の支援も得て栽培活動に取り組む。

# 教育計画の中の食農（活動計画）

## ④活動の日常化について

- ▶ 学校敷地内の花壇、田んぼを有効に活用することで、子ども達が日常的に栽培活動に関心をもてるようにする。
- ▶ 朝の活動の「学級活動」の時間や清掃時間帯に、「はたけの草取り」や「水やり」など短時間でできる作業を行う。
- ▶ 朝・帰りの会を利用し、畑の作物の成長等を報告する時間の確保。

# 教育計画の中の食農（活動計画）

## ⑤教育課程への位置づけ

- ▶ 各学年・各教科において、「食」に関わる「つながり」を学習内容とする単元を構想する。
- ▶ 低学年は生活科の栽培学習と関わらせて進める。
- ▶ 中・高学年は「食と自分のつながり」「食と人々の生活のつながり」等を意識し、総合的な学習の時間で、栽培活動関係の単元を構想する。また、各教科学習の内容（理科・社会等）とも関連させて取り組む。
- ▶ 特別支援 簡単な調理で食べられる作物、職員室や参観日で販売できる収量の多い作物

# 活動の実際（1年生）



# 活動の実際（2年生）



ジャガイモ掘り



ニンジン豊作



野菜ケーキづくり



いももち作り



ニンジンを給食へ

# 活動の実際（2年生）



# 活動の実際（3年生）



# 活動の実際（3年生）

## トマト栽培農家見学



## 花育事業と花卉栽培農家見学

# 活動の実際（4年生）



# 活動の実際（5年生）



代掻き



田植え



稲刈り



はぞかけ



脱穀



注連縄作り

# 活動の実際（5年生）



椎茸栽培(こま打ち)



薪作り



ジャガイモ堀り



親子で収穫祭

# 活動の実際（6年生）



# 活動の実際（特別支援学級）



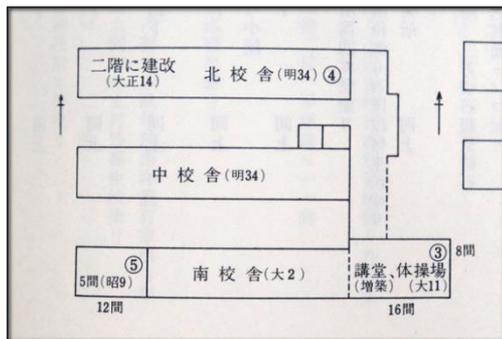
# 開校記念式典・体験学習

## ①美篤小の給食の歴史を学ぶ（学校長）

昭和4年～（世界恐慌）「給食」  
・・・“ご配意中のことと存じ候へども”

昭和7年 「貧困欠食児童調査」  
美篤小学校・・・「80年誌」より

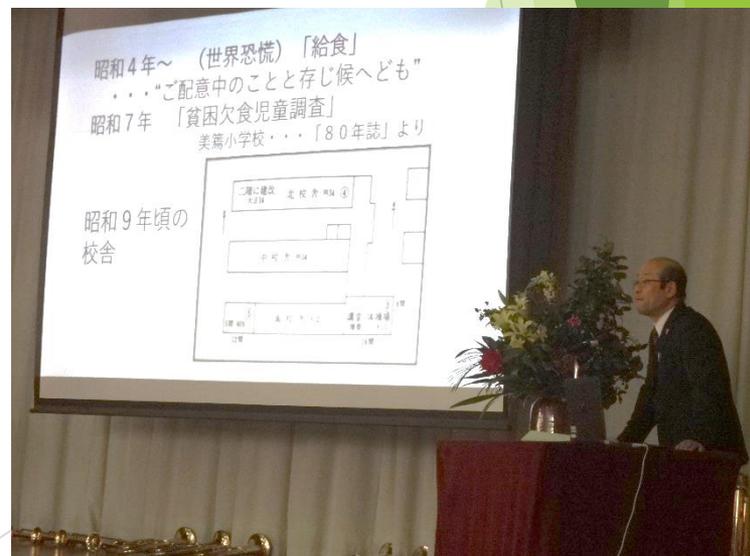
昭和9年頃の  
校舎



- 昭和24年 “給食指定校”
  - ミルク、缶詰、ジャムの配給
  - 学校みその醸造
- 昭和25年 “通年みそ汁給食”
- 昭和28年 完全給食実施
  - 上伊那健康優良校
- 昭和35年 県 健康優良学校賞

『給食』・・・昭和22年～  
“みそしる給食”

- PTA・・・「黒沢山」
- 味噌、野菜
- お母さんの調理



# 開校記念式典・体験学習

## ②農や食の知恵を学ぶ



### 味噌づくり

**みそができるまで、けっこう時間がかかるんだな**



### 煮た大豆をつぶす

**豆をつぶす機械があるんだな。  
けっこう力がある仕事だな。**

# 開校記念式典・体験学習

## ②農や食の知恵を学ぶ



鍛冶屋体験

**鉄がのびる！曲がる！平たくなる！  
昔は道具を自分で作ったんだね**



5年火おこし体験

**回転が止まらないようにするのにこ  
つがいるね！**

# 開校記念式典・体験学習

## ②農や食の知恵を学ぶ



6年 篤竹細工体験

**すき間があかないように上手に編めていてすごいなあ。**



4年 縄ない体験

**縄跳びできるくらいの縄がなえました。**

# 開校記念式典・体験学習

## ②農や食の知恵を学ぶ



石臼できな粉作り体験

**上から入れた豆が粉になって横から出てくる。どうなってるの？**



薪の風呂釜体験

**木のお風呂なのに燃えないの何でなんだろう？**

# 開校記念式典・体験学習

## ②農や食の知恵を学ぶ



モロコシもぎ体験

さいごにモロコシのしんが飛び出してくるのにびっくりしたよ。



もいだモロコシを鶏へあげる体験

おいしそうに、よろこんで食べてくれるね。

# 開校記念式典・体験学習 ②農や食の知恵を学ぶ

地下の水をこうやってくみ上げるんだな。



機織り体験

昔の人は、こうやって少しずつ、少しずつ布を作ったんだな。すごいな。

手押しポンプ体験



# 食農の継続的な課題

- ▶ 借用している畑が遠いこと、夏の猛暑対応が必要なことなどから、生活科、総合的な学習の時間の指導計画の中で、食農に充てられる時間を明確にしていくことと、週日課への位置づけや校外活動支援ボランティアの募集や機械の手配等を検討していく。
- ▶ 全校へ活動を知ってもらうための給食への食材提供、掲示や校内放送による発信の工夫を行って、子どもたちに食農活動の有用感を高めたい。
- ▶ 借地料，種苗代金，諸資材代金等への補助によって学習活動が充実したものになっているので、引き続き補助をお願いしたい。

平成30年度「暮らしのなかの食」の取組実践発表

# 収穫する喜びや 食べる楽しさを 感じる食農体験

伊那市立美篤小学校

・・・発表を終わります

